

## 七 月 の 天 象

### 太 陽

月始め巨蟹宮に在り、22 日より獅子宮に侵入する。

日	赤 經	赤 緯	星 座	視直徑	北極の傾	赤道の位置
10	7時17分	北22度17分	ふたご	31分31秒	東へ1度	南へ4度
20	7 57	20 43	か に	31 32	6	5
30	8 37	18 35	ク	31 34	10	6

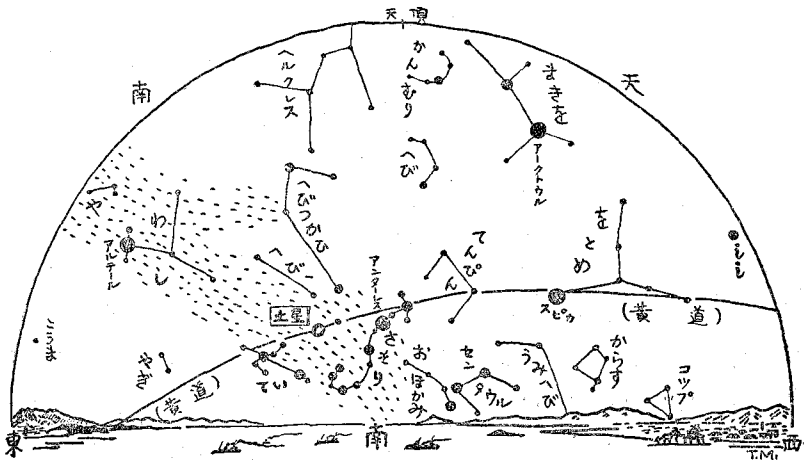
4 日に地球が遠日點を通過するので、視直徑は最小の31分 30 秒 72 秒なる。

### 月

月の相	時 刻	星 座	視直徑
新 月	7日午前 5時 47分 0秒	ふたご	33分25秒
上 弦	14 午前 1 5 0	おさめ	30 44
満 月	22 午前 4 20 42	やぎ	29 34
下 弦	29 午後 9 55 49	ひつじ	31 38
近地點通過	6 午後10 0	ふたご	33 26
遠地點通過	20 午前 1 24	いて	29 26

月は4日午前2時に金星を追越す。丁度日本からも見えるが距離角4度故少し離れ過ぎてゐる。續いて同4日午後4時に木星を追越すが、其の頃は見えない。次に5日午後7時に水星と合さなり、其の北側を通るが、これも見えない。ついで10日午前4時に海王星を追越し、ついで同日午前10時に火星を追越すが、共に見る事は出来ない。又た、19日午前9時に土星と出合ふが、これも見えない。最後に28日午前0時に天王星と出合ふが之は見る事が出来る。即ち此の時、月は天王星の南側2度の距離をすれ違ふ。そして此れを最後として、今月の遊星歴訪を終る。





## 遊星界

水星 3日に西方最大離角 21度となる。従つて勿論曉の東天に見える。併し其の後は次第に太陽に近づき、遂に 31日には之れと外合となる。月始めの視直径は 8秒、月末は 5秒。光度は負 1等。「うし」座から「ふたご」座を通過して「かに」座の東端まで進む。

金星 曉の星で「うし」座の東端から西端へ順行する。其の途中 14日に木星と合。木星の南側 2度半の所を通過して追越す。視直径は月始め 23秒が、月末には 18秒となる。光度は大體負 4等。午前 2時頃には既に東に登る。

地球 4日に遠日點を通過する。

火星 3日に海王星と合となり、其の北側僅かに半度の所を通過する。其の後も順行を續けて月末には「しし」座東端に達す。視直径 4秒。光度 2等。

木星 夜半後の出現。14日金星と合。視直径 33秒。次第に大きくなる。

土星 「いて」座西端の銀河中を逆行す。まだ視直径は 16秒を維持して、光度も零等故觀望の好機である。

天王星 17日留となり、次後逆行に移る。光度 6等。視直径 3秒。

海王星 3日に火星と合。光度 8等。視直径 2秒。宵の星なり。